

あとがき

〈編集顧問〉

徹世聰夫三至
泉保邦良孝
和太小諏永堀

〈編集委員〉

成 一郎 修 志 一 晃
室 浩 本 篤 恵 理
小 翼 橋 平 福 三

〈編集協力委員〉

赤石 誠
大江 元樹
北風 政史
小山 信一郎
中沢 潔

(五十音順)

特発性肺線維症(IPF)は、未だ治療法が確立されていない難治疾患である。この特集では、この方面でご活躍の先生方に、IPF 治療の最新の話題に関して執筆いただいた。

杉山幸比古先生は、「長い IPF 治療研究のなかで、ステロイドを中心とした免疫抑制剤しか選択肢のなかった暗黒の時代は終わり、全く新しい治療の世界が広がってきている」とされている。杉野圭史先生らは、2011 年の IPF 新ガイドラインでは、プレドニゾロン・アザチオプリン・N-アセチルシステインの 3 剤併用療法や抗凝固療法の効果は否定的であるとする一方で、ビルフェニドン、ニンテダニブなどの新規治療薬の評価が高いとしておられる。國保成暁先生らは、これに関して、ステロイド・免疫抑制剤は、「状況に応じた対症療法としての有用性は全面的に否定されてはいない」とされている。小田桂土先生らは、少なくとも IPF 急性増悪として治療を開始する症例の一部に、ステロイド治療および免疫抑制剤が有効な症例が潜んでいることは確かであるとされている。近藤康博先生は、細胞内チロシンキナーゼ阻害薬であり、VEGF などの受容体を阻害するニンテダニブが、FVC の年間減少率を有意に低下するというので、新しい IPF 治療の幕が開いたとされている。水堂祐広先生らは、ポリミキシン B 固定化繊維カラムを用いた直接血液灌流法 (PMX-DHP) は、エンドトキシン血症に対する治療法として保険収載されているが、IPF の急性増悪の実地臨床に広く使用されており、今後エビデンスの獲得が重要であるとされている。

この特集を通じて「IPF 治療」の最新の状況をご理解いただいて、今後の診療の座右の銘としていただければ幸いです。

(三嶋理晃)

呼吸と循環(第63巻 第2号)

2015 年 2 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

定価：本体 2,700 円＋税

2015 年年間購読料(送料弊社負担)

冊子版 30,960 円 + 税	冊子 + 電子版/個人 35,960 円 + 税
	冊子 + 電子版/共有 40,580 円 + 税
電子版/個人 30,960 円 + 税	電子版/共有 35,580 円 + 税

E-mail : kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

發行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

㊦ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当：吉富・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** (®) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@icopv.or.jp)の許諾を得てください。

*「呼吸と循環」は、株式会社医学書院の登録商標です。